

第1回流山市通学区域審議会(令和3年8月24日～9月17日)意見及び回答一覧

(仮称)市野谷小学校

NO	氏名	通学区域について	回答	その他	回答
1	長岡 みつ江	D案が良いと思います。D案はおおたかの森小に通学していたときよりも通学区域が長くなる児童がいないメリットがある。市野谷地区には未整備地が残っている。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	通学路の安全が一番気になるところです。(交通量、不審者等)	【通学路の安全について】 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
2	長谷部 年春	B案に賛成する。学級数が他案に比較して大きな差がないため。	令和9年までは、他案と比較し、学級数のバランスが良いのですが、その後、(仮称)市野谷小学校とおおたかの森小学校の学級数の差が開いていくことを想定しております。市民アンケートの内容も踏まえながら検討していきます。		
3	小林 常男	児童数、学級数のバランスが良くないが、今後児童数が増加した場合等を鑑み、D案を推奨します。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	通学路は歩道と車道を分離して最悪でも車道との境界には柵の設置をお願いしたい。	【通学路の安全について】 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
4	遠藤 由樹	D案で賛成です。 三輪野山4丁目については、今後は当然市野谷小学校への指定変を認めていくことになりますか？ 立地からおおたかの森小との境の許可区域は、現在通っている子とその兄弟ぐらいのしぼりを設けてはどうか。	【三輪野山4丁目について】 おおたかの森小学校の児童数を緩和するという主旨を考えると自然な考え方であると考えます。 三輪野山4丁目は流山北小の通学区域であり、おおたかの森小学校への許可区域であるため、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。 【許可区域について】 おおたかの森小学校への距離が至近であるため、教育委員会としては、開校当時の在籍の有無を問わず、許可区域としていきたいと考えています。		
5	大館 昭彦	D案が良いと考える。 ・学区を区切る際、地区で区切ることが最も説明が付きやすいこと、さらには今後のコミュニティースクール化を考えたとき、地域との結びつきを強くするためにも、地域を大切にされた方がよいと考える。 ・令和6年度から9年度という比較的近い将来について数字が出ているが、小山小やおおたかの森小で実証されているように、統計学よりも、その予想を大きく上回る形で児童数が増加している。これは、宅地の開発状況にもよるが、今の流山市を考えたとき、市野谷地区も必ず大規模住宅の建設、児童・生徒数の増加があると考えたとき、新設小学校には許す限りの余裕教室があった方がよいと考えるからである。 ・なお、小学生にとっては通学距離は重要な問題であり、新設校に移っても通学距離が長くないのは大切な要件の一つである。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	地区の分断や、大きすぎる小学校は、新設校をつくるにあたって、好ましくないのではないだろうか。危険箇所については、保護者の協力を得ながら、地域全体で取り組むことが望ましい。	【通学路の安全について】 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。また、登下校の見守りについては、保護者や地域の方の御協力を得ながら、実施していきたいと考えます。

第1回流山市通学区域審議会(令和3年8月24日～9月17日)意見及び回答一覧

(仮称)市野谷小学校

NO	氏名	通学区域について	回答	その他	回答
6	國井 紀子	D案がいいと思う。やはり、通学路が長いと子どもたちが大変だと思う。デメリットの部分は、また、調整していく方向でいいのではないかと思います。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	通学路となる道の安全性も考慮した方が少し思いました。車の交通量も多くなっているため、子どもたちが安全に通学できるように。	【通学路の安全について】 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。また、登下校の見守りについては、保護者や地域の方の御協力を得ながら、実施していきたいと考えます。
7	佐々木 真木子	D案で賛成です。市野谷地区に、これからマンションや住宅ができてきた場合、市野谷小学校をこのくらいの児童数にしていくことは大事だと思いました。あと、記載のように、通う児童の距離が長くないことは重要だと思いました。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。		
8	林 修司	D案の通学区域に賛同します。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。		
9	小泉 勲	D案で良いと思います。 ・市野谷自治会では、自治会の範囲が広く区画整理により世帯数(人口)が急激に増加していることから、おおたかの森小正門前の道路を境にして自治会を分割する計画があるようです。字も分かっている箇所でもあることからよいと思います。 ・許可区域は設けなくてもよいのではないのでしょうか。新小学校区域に決めてしまった方が、児童数のバランスが少しでも良くなるのではないのでしょうか。開校時におおたかの森小に通学している兄弟がいる場合に限って入学を認めることとしてはどうでしょうか。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。 【許可区域について】 おおたかの森小学校への距離が至近であるため、教育委員会としては、許可区域としていきたいと考えています。例えば、許可区域を設定しなかった場合、おおたかの森小学校の西側の家庭は、目の前におおたかの森小学校に通わず、(仮称)市野谷小学校に通うこととなります。このようなことを極力避け、柔軟に対応するために、許可区域を設定しています。	学校名についてはおおたかの森第二小学校としてはどうでしょうか。 ・新小学校区域内の自治会数は1か2と少なく、新たに新小学校区内での地区社会福祉協議会の設立は無理があり、できないのではないかと考えています。地区社協は、地域(区域)内の方々に協力していただき児童の見守りや各種の行事等を児童と行うなど、小学校との関わりがあります。よって開校後は、おおたかの森小学校区の地区社協が対応していくことになると思いますので。 ・おおたかの森小学校から完全分離になることから、児童たちもなじみやすいのではないのでしょうか。 ・参考までにおおぐろの森小学校は、おおたかの森小学校からの児童が大半でしたので、現在、おおたかの森地区社協で対応しております。新小学校が開校する6年までには、おおぐろの森地区社協を設立すべく準備をしていきたいと思っています。	【学校名について】 来年度を目途に、校名アンケートを実施する予定ですので、その結果を受けてから決定します。 【地区社協について】 地区社協については、御協力いただきありがとうございます。通学区域については、可能な範囲で地域コミュニティを配慮しなければと考えております。今後ともよろしく願いいたします。
10	石井 孝浩	D案でいいと思います。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。		
11	龍田 進	・D案を第一とします。 ・D案は、通学路の距離が一番短いです。大きな道路をまたぐ箇所もなく安全です。 ・児童数・学級数も少ないが、将来マンション等が増える可能性があると思える。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	今年6月28日八街市で下校中の児童2名が死亡、3名が重軽傷を負った事故が発生している。流山市でも危険な道路があると思います。少しでも少ないことを学校区についても考える必要があると思います。	【通学路の安全について】 通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。

(仮称) 市野谷小学校

NO	氏名	通学区域について	回答	その他	回答
12	宮原 京子	私はD案が良いと思います。理由はおおたかの森と市野谷で字が分かれるので、とてもわかりやすく違和感がないことです。地域コミュニティーの面からみてもベストであると考えます。通学距離もおおたかの森小に通学していた時より長くなる児童がほぼいないので、抵抗感が少ないのではと思います。ただ、令和6年度及び9年度では、児童数・学級数のバランスが良くないのが気になりますが、市野谷地区の未整備地に児童の増加が見込まれるので、新設校に人数的にゆとりを持っておくことにより対応できるので安心感があります。これらのことからD案が最も良いと考えます。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	流山市は児童・生徒の急増により待ったなしの状態が続いています。コロナ禍の中、新設校開校に向けての様々な準備に向けて奔走されている関係者の皆様には頭が下がります。児童・生徒数の推計値はあくまで予想なので、現実には想定外のこともありますが、きめ細かくその都度迅速な対応が必要であると思いますので、よろしくお願いいたします。	【児童生徒推計値について】委員おっしゃるとおり、児童推計は主に、住民登録者数と区画整理地区における未整備地面積から算出しております。実際に、住民が転入してくるかは、その方々の考えやタイミングがありますので、どうしてもはずれることはあります。その時々にも最善の対応ができればと考えております。
13	高西 由紀	・D案の設定で問題ないと思います。 ・市野谷地区の一部についての指定学校変更も許可区域として可能だと思います。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	・比較的通学路も広いところも多く思いますが、まだ未整備地が多く感じるため、登下校時に防犯対策も必要だと思いました。	【通学路の安全について】通学路の設定は、通学路の安全も配慮しなければならないと考えております。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
14	安江 裕子	通学区域を設定するにあたり、最重要点は児童数と学級数のバランスだと思う。この点を考慮すると、C案とD案が選択できる。 D案は令和6年度の2校の学級数の差が26学級、9年度は16学級、しかも令和9年度までおおたかの森小は40学級を超えている。その点C案は6年度も9年度も2校の学級数の差が大きい上に、おおたかの森小は37学級で落ち着いている。隣接している2つの学区で、学級数の差は大きくない方がよい。通学距離の表現もC案とD案は微妙である。C案はデメリットとして通学時間が以前よりかかる児童が多少いる、D案はメリットとしてほぼいないになっているので、もう少し具体的に数字を挙げてもらいたい。ということで私はC案を推します。	【児童数と学級数のバランスについて】委員のおっしゃるとおり、教育委員会としても児童数と学級数のバランスが重要であると考えております。しかしながら、加えて地域コミュニティや通学路の安全なども合わせて検討していかなければならないものと考えております。そのような意味で現時点で教育委員会ではD案が最良と考えております。 【通学距離について】D案における許可区域以外の市野谷小学区で、おおたかの森小学校に通っていたときよりも通学距離が遠くなる可能性のある児童の人数に関しては、正確に把握できていませんが、実際に一番遠い地点からの距離を調べたところ、距離にして150m、時間にして1～2分程であると認識しています。	C案のデメリットでおおたかの森南二丁目の学区が分断されるとありますが、分断されたときに何か不都合があるのか、実例があれば、それを教えていただければと思います。最初からおおたかの森南二丁目1から27までが「おおたかの森小学校」、28～39までが「(仮称)市野谷小学校」と決められていたら、問題はないような気がするのですが…。過去に不都合なことが生じていたなら考えなければいけないと思いますので、差し支えなければ教えてください。 (仮称)市野谷小学校の卒業生は南部中学校に通うことになるのですか？	【字の分断について】地域コミュニティを考えたときに、同じ自治会の中でも、別の通学区域になってしまうこともあります。その場合、見守り活動などに支障が出るほか、自治会単位で行う他の活動についても、不都合が生じる可能性があります。可能な限り、地域コミュニティも配慮しなければならないと考えております。 【中学校について】今回の通学区域の変更は、おおたかの森小学校の通学区域の変更についてのみです。現在のところは、(仮称)市野谷小学校の卒業生が南部中学校に通う予定はございません。ちなみに、今年度の推計値から令和9年度における南部中学校の生徒は809人、おおたかの森中は692人として算出しています。
15	小野寺 克文	流山市教育委員会が提案するD案に賛同します。 理由 ・D案区域は現在大半が未整備地区であり、条件整備として同条件での検討が容易であること。 ・TX線に隣接するこの区域に存在する各校とも、今後とも増加する生徒数のバランス・設備面などの配慮など、D案として検討することが妥当であること。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	流山市では、新規参入世帯の急増から、新設校と既存校とのバランスのとれた諸施策の配慮が求められると思料します。	貴重な御意見ありがとうございました。委員おっしゃるとおり、引き続き市内の教育の均衡を図っていきます。